

# 2018年6月8日 第3247回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 小林 会長  
<斉 唱> 「手に手つないで」  
<ゲスト紹介> \* JWA公認プロウインドサーファー 香村 治彦 様  
\* 株式会社 住よし 統括本部長 松本 明弘 様  
\* 平成ハウジング株式会社 代表取締役 加賀本 好美 様  
<ビジター紹介> \* 根本 克彦 様 (箱根ロータリークラブ)  
\* 土佐 洋子 様 (葉山ロータリークラブ)  
<会長報告> \* 新会員入会 中村 勝則会員・木村 一郎会員



- <委員長報告> \* 次年度会員増強・会員維持委員会 長坂委員長より  
次年度会員増強・会員維持セミナー報告  
\* 地区青少年交換委員会 八巻会員よりロータリー青少年交換学生募集について  
\* ロータアクト委員会 小山委員長より横須賀RAC例会案内について  
<幹事報告> \* ガバナー月信 No. 12  
<出席報告> \* 出席委員会 植田委員長より6月8日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
120名	98名	64名	34名	2名	67.35%

## <ニコニコ報告>

- ・根本克彦様 (箱根ロータリークラブ) 前回勉強になりました。刺激を頂きありがとうございます。箱根は火曜日湯本富士屋で開催しています。お待ちしております。ちなみに私、ウインドサーフィン20年やっています。
- ・三 役 JWA公認プロウインドサーファー香村治彦様、本日の卓話よろしくお願ひします。
- ・小平、瀬戸、福西、波島、澤田、吉田、鈴木、若麻績、長坂、齋藤、前川、門井、物井 各会員  
JWA公認プロウインドサーファー香村治彦様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
- ・三 役 箱根RC根本克彦様、葉山RC土佐洋子様、ようこそお越しくださいました。
- ・久保田 会員 入会月祝いとして
- ・長尾、新倉、佐久間、鈴木、齋藤、物井、徳永 各会員  
箱根ロータリークラブ根本克彦様、葉山ロータリークラブ土佐洋子様、ようこそお越しくださいました。ごゆっくりお過ごしください。
- ・三 役 中村勝則会員、木村一郎会員、入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しんでください。
- ・杵淵、加藤、植田、福西、猿丸、新倉、薦野、勝間、澤田、濱田、田邊、久保田、若麻績、長尾、江沢、角井、新倉 各会員  
中村勝則会員、木村一郎会員ご入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しみ

ましょう。

## <卓 話>

## JWA公認プロウインドサーファー 香村治彦様

ティアーズウインドサーフィンスクールの香村と申します。宜しくお願ひ致します。貴重なお時間頂いてありがとうございます。

昨年より横須賀津久井浜海岸でウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会を開催され、今年で2年目になります。コンディションにも恵まれ、多くの方にご協力をいただきまして、大成功を収めることができました。ウインドサーフィンをご存知ない方に実際に自分が走っている映像を見ていただいて説明したいと思ひます。

ふかふか浮いているようなイメージをもたれる方も多いかも知れませんが、実際見ていただければお分かりのように、45から50キロのスピードで走り、かなりスピード感あふれる競技になります。

実際に行われたワールドカップの映像を見ながら、お話を進めたいと思ひます。

まずは、自分のプロフィールを紹介したいと思ひます。

昭和41年生まれの52歳。JWA（日本ウインドサーフィン協会）所属のプロ選手の中でも最年長。平均年齢が高いスポーツですが、どこまでできるのか挑戦しています。

今回のゲストビジターの葉山町会議員土佐洋子プロも応援にかけつけてくれました。同級生でプロとして活躍中です。

ウインドサーフィンとの出会いは17歳のとき。大学で本格的に始め、拓殖大学でかなり厳しい指導を受け、4年間で色々な経験をしました。

平成元年、バブル絶頂期に、富士通電業に就職し10年間サラリーマンをしながら、実業団のクラブに加入し、土日はウインドサーフィンのレース活動を続けていました。

32歳の時、どうしてももっと突き詰めていきたい！と脱サラし、その後、約20年ウインドサーフィンの仕事をしています。プロとして活動する傍ら、横須賀津久井浜にティアーズというウインドサーフィンショップを経営。インストラクター、道具の輸入販売、レース活動などで色々なレベルの選手の面倒をみたり、活動しています。

今年の3月6日、NPO津久井浜マリンスポーツ連盟を立ち上げ、漁協、店舗、地域の応援団などとひとつの大きな受け皿をつくり、理事として地元貢献、地域の活性化、マリンスポーツの普及につとめています。

なぜ、津久井浜でワールドカップが行われたか。

大きな湾、温暖な気候で、風の通りが北風、南風が左右横から入ってくるので、安全かつ距離が伸び、非常に良い場所。45年前からかなりメジャーなスポット。30年前に三浦海岸でワールドカップのピンポイント的な大会も行われ、津久井浜でも色々な日本の大会が行われていました。静岡県の御前崎でも大きな大会が行われていました。その後、大きなスポンサーがつくような日本ではやれるチャンスがなかった。韓国では毎年行われていました。

昨年、横須賀市生活推進課もそこに着目し、企業や色々な方々の尽力の下、風に恵まれた、津久井浜で行うことができました。

昔に比べると、道具も進化しています。形、素材とも大きく変わってきています。

一番の注目は、水中フィンがついています。去年から風が弱い風でもアグレッシブに動けるフォイル競技が始まり、今年からは正式競技になりました。日本人選手の代表としてなかなか成績は残せないが、頑張りました。



5月10日から15日まで、開催され、風が弱くても競技することができ、色々な形で大会が成功しました。富士通の協力により、特別な小さいセンサーを体やウィンドーなどに装着し、リアルタイムで現地の大型モニターやスマホでトップ選手の走りを体感することができ、大好評でした。

一年目の課題である「風がないときのイベント」

その課題を元に実行委員会や多くの人の協力の下、誰が来ても分かる、楽しめる大会を行うことができました。第1回大会は3万3千人が今年は4万9千人の収容人数となりました。

活動報告にもありますが、ウィンドサーフィン滑走中に装着してしまうごみや海草を回収、地元のすごい協力を得て良い大会になった。地元の皆さんや多くの方に協力していただいたのが今年最大のポイントになりました。

ワールドカップが行われている町なので、様々な活動し、盛り上げていきたいと考えています。今後も活動を継続的に続けたいと思います。

今年の6月3日、ハイランドのプールにてイベント。

プールにてウィンドサーフィン体験。

海ではなく、プールで行うことは、子どもが初めて体験するには、メリットがたくさんある。体育館→プール→海へとつなげていければと活動しています。

横須賀市生活促進課はワールドカップを5年と言っていますが、自分では10年はやりたいです。全日空、京急も協力し横須賀の上地市長も力を入れてくれているので、ぜひ横須賀の企業の社長の皆様たちにもご協力頂き、横須賀=津久井浜=ウィンドサーフィン=マリンスポーツとなるようにしたいです。江ノ島でもセーリング、東京オリンピックある。同じ神奈川県として、一緒になってお互い高めていきたい。

お集まりのロータリークラブの皆様にもワールドカップへのご支援、ご協力を賜りたいと思います。

<閉会・点鐘> 13:30 小林 会長

週報担当 新倉 良 是